

さとうきび増産に向けた取組の実績及び評価

沖縄県本島中部

〔うるま市、沖縄市、宜野湾市、浦添市、嘉手納町、北谷町、西原町、読谷村、北中城村、中城村〕

増産プロジェクトにおける令和6年産生産計画の達成状況及び今後の取組状況

生産計画の達成状況等

1 令和6年産の生産実績

	収穫面積 (ha)				単収 (kg/10a)				生産量 (t)			
	夏植	春植	株出	計	夏植	春植	株出	計	夏植	春植	株出	計
H29年産実績	99	49	418	566	6,958	4,827	5,034	5,352	6,890	2,381	21,026	30,297
H30年産実績	83	54	382	519	6,322	4,633	4,412	4,742	5,270	2,481	16,859	24,610
R元年産実績	75	40	325	440	6,080	4,094	4,192	4,505	4,568	1,644	13,631	19,842
R2年産実績	89	53	310	451	6,529	4,707	4,974	5,249	5,781	2,475	15,403	23,659
R3年産実績	75	50	323	448	6,627	5,298	4,821	5,178	4,993	2,635	15,570	23,198
R4年度実績	86	50	327	463	7,053	5,152	4,912	5,336	6,076	2,559	16,081	24,716
R5年増産実績	66	47	322	435	5,200	4,070	3,809	4,050	3,455	1,912	12,253	17,620
R6年増産計画	110	70	425	605	7,500	5,300	5,400	5,770	8,250	3,710	22,950	34,910
R6年増産実績	53	54	279	386	7,321	5,374	5,370	5,636	3,848	2,908	14,991	21,747
(対計画比%)	(47.8)	(77.3)	(65.7)	(63.8)	(97.6)	(101.4)	(99.4)	(97.7)	(46.6)	(78.4)	(65.3)	(62.3)
(対前年比%)	(79.1)	(115.2)	(86.8)	(88.7)	(140.8)	(132.0)	(141.0)	(139.2)	(111.4)	(152.1)	(122.3)	(123.4)

2 その他指標の動向 令和5年産→令和6年産

・株出栽培の割合 73.9% → 72.4% ・さとうきび作農家戸数 962戸 → 842戸
 ・平均糖度 14.1度 → 14.3度

<p>増産目標に対する位置づけ</p>	<p>令和6年産 生産計画及び実績については、以下のとおりであった</p> <table border="1" data-bbox="481 263 1153 375"> <thead> <tr> <th></th> <th>収穫面積</th> <th>単収</th> <th>生産量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(計画)</td> <td>605ha</td> <td>5,770kg/10a</td> <td>34,910t</td> </tr> <tr> <td>(実績)</td> <td>386ha</td> <td>5,636kg/10a</td> <td>21,747t</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和6年度の生産は収穫面積目標605haに対し実績は386 ha(計画比64%)、単収目標6.1t/10aに対し実績は5.6t/10a(同92%)、生産量目標34,910tに対し実績は21,747t(同62.3%)となった。</p> <p>今期は適期肥培管理作業の推進を関係機関とともに実施したが、受託作業者の不足により中耕や雑草対策等の遅れが散見された。梅雨明け後の少雨傾向の影響により、かん水設備の無い地域で干ばつ被害が確認された。その後は台風の被害がなく、茎長の伸びがよかったことから、前作よりも増産となった。一方、収穫面積については、栽培面積の減少に歯止めがかからず、目標面積を大きく下回り、これに伴い目標とする生産量を達成することができなかった。</p>		収穫面積	単収	生産量	(計画)	605ha	5,770kg/10a	34,910t	(実績)	386ha	5,636kg/10a	21,747t
	収穫面積	単収	生産量										
(計画)	605ha	5,770kg/10a	34,910t										
(実績)	386ha	5,636kg/10a	21,747t										
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 面積の減少 ・ さとうきび生産農家の育成と受託作業者の確保 ・ ハーベスタのオペレータによる丁寧な収穫と機械収穫等に適した圃場づくり 												
<p>令和6年産における取組方針</p>	<p>主なさとうきび生産振興策として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ OCR調査時に農家に対し、受託作業者の掘り起こしと収穫面積の確保に向けた聞き取り調査を行う ・ 地区協議会事業でハーベスター収穫後の株出管理作業の受委託を支援し、適期管理による単収向上を図る ・ 雑草防除のための受託業者等の育成 ・ 栽培講習会及び株出管理実演会の実施 												

(1) 経営基盤の強化

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																											
<p>①効率的なさとうきび経営の育成と労働力の確保</p>	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> うるま市宮城、伊計島の葉たばこ廃作に伴い増加した畑へ全茎式植付機による省力的植付を実施 ゆがふ製糖による荒蕪地解消事業、面積拡大事業を活用し、遊休農地の解消及び栽培面積の拡大を図った 共同防除作業機器等の農業機械貸出推進による作業の省力化を図った <p>【目標の達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="443 643 1408 834"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定農業者</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>14</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>農業法人</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 収穫面積の減少 さとうきび生産農家の育成と受託業者の確保 機械の作業幅に合わない狭い畦幅や、機械のUターンに必要な枕地を設けず圃場端までの植付けが多いため、ハーベスター収穫時の株の踏み荒らしによる欠株が発生 		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	認定農業者	6	10	15	22	22	22	14	12	農業法人	10	10	14	-	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 生産農家に対して機械収穫に向く枕地と畦幅の確保 地区協議会事業でハーベスター収穫後の株出管理作業の受委託を支援し、適期管理による単収向上を図る 生産意欲の高い担い手農家および生産法人の育成を支援する OCR調査時に規模縮小する農家に対し、農地を他の人に貸し出す意向があるか確認し、中間管理機構等へ繋げる
	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6																					
認定農業者	6	10	15	22	22	22	14	12																					
農業法人	10	10	14	-	-	-	-	-																					

②農業共済制度への加入促進	【実施した取組】 <ul style="list-style-type: none"> チラシ配布各さとうきび生産組合総会における加入促進の周知を行った さとうきび生産者圃場植付調査(OCR調査)の際に、加入の斡旋を行った 								<ul style="list-style-type: none"> 農業共済のパフレットやチラシを活用し、加入の斡旋を継続して行う 栽培管理改善による単収の向上で収益を増やし、共済加入への意欲を高める 	
	【目標の達成状況】									
		H29 (30年産)	H30 (R元年産)	R元 (R2年産)	R2 (R3年産)	R3 (R4年産)	R4 (R5年産)	R5 (R6年産)		R6 (R7年産)
	加入戸数 (戸)	409	311	281	253	261	226	206		181
	戸数引受率 (%)	37.4	30.5	30.3	26.5	28.3	23.6	22.2		18.9
	引受面積 (ha)	217	142	141	123	128	114.1	110.0		109.6
	面積引受率 (%)	43.1	33.4	32.4	28.3	29.9	26.3	25.3		25.3
共済金額 (千円)	186,440	126,737	125,360	11,608	98,257	-	-	-		
	注) R4～R6年産の数値については概算値									
【課題】 <ul style="list-style-type: none"> 経営規模が小さいため加入意欲が低く、共済制度加入への関心が薄い 農業共済の重要性の周知 										

(2)生産基盤の強化

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																																				
<p>①気象災害に強い生産基盤の整備</p>	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 干ばつ被害軽減を目的とした保水性ポリマー施用の実証展示圃を設置 ・ ・ <p>【目標の達成状況】 (単位:%)</p> <table border="1" data-bbox="443 544 1408 810"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29 実績</th> <th>H30 実績</th> <th>R元 実績</th> <th>R2 実績</th> <th>R3 実績</th> <th>R4 実績</th> <th>R5 見込</th> <th>R6 見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ほ場整備率</td> <td>56.8</td> <td>56.8</td> <td>56.8</td> <td>56.8</td> <td>56.8</td> <td>67.8</td> <td>50.4</td> <td>50.4</td> </tr> <tr> <td>水源整備率</td> <td>50.0</td> <td>50.0</td> <td>50.0</td> <td>50.0</td> <td>52.5</td> <td>61.4</td> <td>38.5</td> <td>38.5</td> </tr> <tr> <td>畑地かんがい整備率</td> <td>39.3</td> <td>39.9</td> <td>39.9</td> <td>39.9</td> <td>39.9</td> <td>46.6</td> <td>33.1</td> <td>33.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ かん水経費や労力負担意識が大きく、製糖工場や土地改良区で貸し出すスプリンクラーやかん水機材利用者が少ない ・ 降雨時に湿害によってさとうきびの発芽や生育が不良になる北中城やうるま市の畑での排水改善対策 ・ 農業用水の確保が困難な地域がある 		H29 実績	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 見込	R6 見込	ほ場整備率	56.8	56.8	56.8	56.8	56.8	67.8	50.4	50.4	水源整備率	50.0	50.0	50.0	50.0	52.5	61.4	38.5	38.5	畑地かんがい整備率	39.3	39.9	39.9	39.9	39.9	46.6	33.1	33.1	<ul style="list-style-type: none"> ・かんがい施設整備地域では、梅雨明け直後からの早期かん水を推進する ・農業用水の確保が困難な地域においては、干ばつに強い奨励品種の栽培を推進
	H29 実績	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 見込	R6 見込																														
ほ場整備率	56.8	56.8	56.8	56.8	56.8	67.8	50.4	50.4																														
水源整備率	50.0	50.0	50.0	50.0	52.5	61.4	38.5	38.5																														
畑地かんがい整備率	39.3	39.9	39.9	39.9	39.9	46.6	33.1	33.1																														

<p>②機械化一貫体系の確立</p>	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハーベスタ収穫を行った圃場で株出管理講習会を実施し、機械化一貫体系の促進を図った ・地区協議会が所有しているハンマーモア、動力噴霧機等の管理機械について利用啓蒙を図った ・農業機械士に対し牽引式作業機による培土、除草作業、ドローン散布について現地検討会を実施 <p>【目標の達成状況】 (単位:台、ha、%)</p> <table border="1" data-bbox="443 411 1406 603"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハーベスタ稼働台数</td> <td>46</td> <td>41</td> <td>34</td> <td>42</td> <td>41</td> <td>42</td> <td>40</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>ハーベスタ収穫面積</td> <td>269</td> <td>272</td> <td>229</td> <td>240</td> <td>254</td> <td>298</td> <td>286</td> <td>268</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハーベスターの老朽化で故障が多発し毎年収穫不能になるため、ハーベスタの新規導入、修繕、稼働調整、他地区からの応援が必要 ・機械植付およびハーベスタ収穫時に欠株が発生 ・ハーベスタのオペレータによる丁寧な収穫と機械収穫等に適した圃場づくり 		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	ハーベスタ稼働台数	46	41	34	42	41	42	40	36	ハーベスタ収穫面積	269	272	229	240	254	298	286	268	<ul style="list-style-type: none"> ・生産農家に対しては機械化作業に適する畦幅や枕地の設置などを推進し、オペレータに対してはより丁寧な作業を求め、相互で信頼関係を築く ・株出管理は補植で欠株をなくし、雑草防除もセットで行い、単収を上げ、農家収益の向上を図る ・うるま市石川地区及び与那城伊計地区において、葉たばこからさとうきびへの転作による急激な栽培面積の拡大に対応したハーベスターの導入 ・OCR調査時にアンケート形式で受託業者の掘り起こしを行う ・けん引式作業機およびドローンの利用について、引き続き検討する
	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6																					
ハーベスタ稼働台数	46	41	34	42	41	42	40	36																					
ハーベスタ収穫面積	269	272	229	240	254	298	286	268																					
<p>③地力の増進</p>	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業活用による土壌改良資材の利用推進 ・土づくりとして、夏植準備圃場に丸葉系緑肥クロタラリアを播種、すき込みを行った(読谷村) ・島内で生産された牛糞堆肥及び保水性ポリマーを施用した展示圃を設置した <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑肥栽培と堆肥利用による腐植率の向上 ・緑肥の活用促進を図るための緑肥粉碎用ストローチョッパーの導入 ・マニュアルスプレッターの導入による堆肥や土壌改良資材の散布 	<ul style="list-style-type: none"> ・さとうきびの生育不良等、要望のあった生産農家の土壌分析を行い、単収向上に資する ・低単収地域へ堆肥利用、緑肥播種を推進する 																											

(3)技術対策

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																																																																																	
①病害虫対策	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> JA、ゆがふ製糖、市町村でガイドー、野そ剤等農薬購入補助 生産法人の植付受託作業後の発芽不良に対して、中部地区きび協と普及で黒腐病の発生を確認して農家の理解を得た <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 栽培管理の粗放化に起因する雑草、メイチュウ類、バッタ類の発生防止対策 関係機関職員と農家への病害虫発生時の早期情報共有化 農薬の保管等GAP推進 	<ul style="list-style-type: none"> JA、工場、市町村で実施する農薬補助の継続と共に病害虫発生情報を関係機関で共有して、共に対策に取り組む 病害虫対策は講習会やチラシ配布で適用農薬の種類、使用方法、ドリフト対策などの周知、適正使用を呼び掛ける 																																																																																	
②優良品種の選択・普及	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県さとうきび優良種苗安定確保事業について原苗ほ及び採苗ほの要望品種を市町村と協議し、品種の普及拡大を図った 令和5年度補正事業による多回株出の更新時に、採苗ほの苗を提供して優良種苗の栽培面積を拡大した <p>【目標の達成状況】 (単位:%)</p> <table border="1" data-bbox="443 850 1406 1230"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29 (実績)</th> <th>H30 (実績)</th> <th>R元 (実績)</th> <th>R2 (実績)</th> <th>R3 (実績)</th> <th>R4 (実績)</th> <th>R5 (実績)</th> <th>R6 (実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農林8号</td> <td>21.7</td> <td>18.5</td> <td>16.8</td> <td>14.6</td> <td>14.3</td> <td>9.2</td> <td>7.6</td> <td>6.5</td> </tr> <tr> <td>農林15号</td> <td>6.0</td> <td>5.6</td> <td>5.7</td> <td>5.5</td> <td>5.4</td> <td>5.8</td> <td>6.2</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>農林17号</td> <td>3.7</td> <td>2.7</td> <td>1.8</td> <td>1.6</td> <td>1.3</td> <td>0.9</td> <td>0.8</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>農林20号</td> <td>1.7</td> <td>1.2</td> <td>0.7</td> <td>0.7</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>農林21号</td> <td>5.7</td> <td>4.8</td> <td>4.5</td> <td>4.9</td> <td>4.7</td> <td>4.1</td> <td>3.2</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>農林25号</td> <td>14.7</td> <td>12.5</td> <td>10.5</td> <td>8.6</td> <td>8.5</td> <td>5.8</td> <td>5.1</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>農林27号</td> <td>6.7</td> <td>7.5</td> <td>9.1</td> <td>13.7</td> <td>14.5</td> <td>15.8</td> <td>16.3</td> <td>16.4</td> </tr> <tr> <td>農林28号</td> <td>3.7</td> <td>5.8</td> <td>8.0</td> <td>7.3</td> <td>6.9</td> <td>8.1</td> <td>9.4</td> <td>7.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原苗圃の雑草、メイチュウ発生防止管理の徹底による良質苗の生産 採苗圃からの各農家への平等な苗配布 長期株出に対する優良品種拡大 各地域に合わせた品種の選定 		H29 (実績)	H30 (実績)	R元 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (実績)	農林8号	21.7	18.5	16.8	14.6	14.3	9.2	7.6	6.5	農林15号	6.0	5.6	5.7	5.5	5.4	5.8	6.2	6.0	農林17号	3.7	2.7	1.8	1.6	1.3	0.9	0.8	0.5	農林20号	1.7	1.2	0.7	0.7	0.4	0.4	0.3	0.2	農林21号	5.7	4.8	4.5	4.9	4.7	4.1	3.2	2.3	農林25号	14.7	12.5	10.5	8.6	8.5	5.8	5.1	3.9	農林27号	6.7	7.5	9.1	13.7	14.5	15.8	16.3	16.4	農林28号	3.7	5.8	8.0	7.3	6.9	8.1	9.4	7.3	<ul style="list-style-type: none"> 原苗ほ設置が困難な市町村の苗ほを中部地区きび協が主導して、一元管理できるよう各市町村と調整、実施 有望品種の展示ほを設置し、収量・品質など品種特性、栽培方法の留意点の周知を図る 各市町村の種苗ほの管理状況を確認し、育苗管理に協力し、生産農家には苗確保のため苗ほの設置を促す 中部地域の関係機関を対象とした品種特性に係る勉強会の実施
	H29 (実績)	H30 (実績)	R元 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (実績)																																																																											
農林8号	21.7	18.5	16.8	14.6	14.3	9.2	7.6	6.5																																																																											
農林15号	6.0	5.6	5.7	5.5	5.4	5.8	6.2	6.0																																																																											
農林17号	3.7	2.7	1.8	1.6	1.3	0.9	0.8	0.5																																																																											
農林20号	1.7	1.2	0.7	0.7	0.4	0.4	0.3	0.2																																																																											
農林21号	5.7	4.8	4.5	4.9	4.7	4.1	3.2	2.3																																																																											
農林25号	14.7	12.5	10.5	8.6	8.5	5.8	5.1	3.9																																																																											
農林27号	6.7	7.5	9.1	13.7	14.5	15.8	16.3	16.4																																																																											
農林28号	3.7	5.8	8.0	7.3	6.9	8.1	9.4	7.3																																																																											

<p>③栽培技術の普及等</p>	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ビレットプランターによる植付けに係る苗投入量の検討を図るため、実証展示圃を設置 ・ うるま市さとうきび生産振興対策協議会の委託費活用による株出管理作業受委託を支援し、適期作業を実施 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中部地区の畑かんがい未整備圃場で保水性ポリマー資材の実証展示圃による単収向上効果の確認 ・ 梅雨明け直後及び干ばつ時のかん水による単収の向上 ・ 株出、新植春植及び夏植後の除草剤利用による雑草防除 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地区さとうきび生産振興協議会による株出管理作業受委託支援を拡大し、適期査管理作業を中部全体で実施 ・ 雑草防除のための作業受託者等の育成 ・ さとうきび株出管理作業について、実証展示圃の設置、現場指導や講習会を実施する
------------------	--	--